

Access2016 で利用する場合の留意事項

本書は、Access2010 用ですが、バージョン 2013・2016 でもほぼ同じように作成できます。ただ、いくつかの変更点があるので、以下を参照してください。

■ 該当箇所を読み替えてください。図も同じです。

1. データ型の変更

データ型の「テキスト型」が「短いテキスト型」に変更されました。該当箇所では、「短いテキスト型」を読み替えてください。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ページ	11	12	28	43	43	45	57	57	73	74	76	76
番号	③	メモ	③	3.1 ②	3.2 ②	⑥	3.2 ②	3.3 ③	②	①	3.3 ①	3.4 ①

2. IME 変換モード

Windows8 以降順次 IME 変換モードが削除されたことに伴い、フィールドプロパティの [IME 変換モード] の設定 (人名/地名) は不要になりました。設定しても差し支えありませんが、機能はしません。

	1	2	3
ページ	12	46	57
番号	①～③	⑫	⑤

3. コントロールウィザードのオン/オフ

オンの「オレンジ色」が「灰色」に変更されました。該当箇所では、「灰色」を読み替えてください。

	1	2	3
ページ	17	38	65
番号	②	⑥	⑤

4. オプションの項目名変更

「カレントデータベース」が「現在のデータベース」に変更されました。該当箇所では、「現在のデータベース」を読み替えてください。

	1	2	3	4
ページ	20	39	52	70
番号	②	②	①	8.2 ①

5. ボタン名の変更

「Excel ワークシートにエクスポート」ボタンが「Excel スプレッドシートにエクスポート」に変更されました。該当箇所では、「Excel スプレッドシートにエクスポート」を読み替えてください。

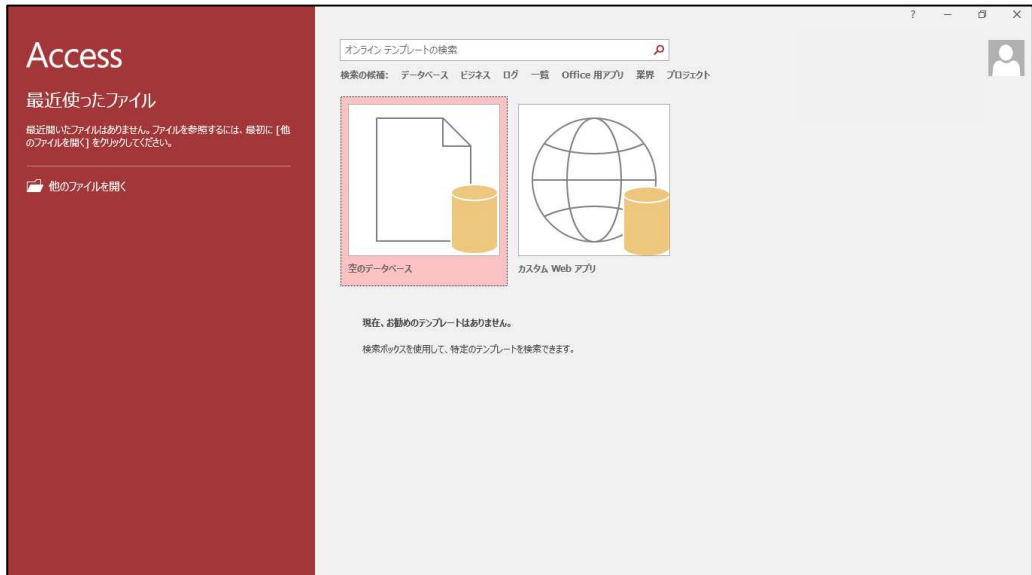
	1	2
ページ	53	54
番号	8.2 ②	⑨

■ 説明や図の変更があります。差し替えてください。

1. 起動時の画面変更 (p.5)

1. 起動時の画面


Access を起動すると、[新規作成] の画面が表示されます。Access では、はじめにこの画面で新しいデータベースファイルの名前を付けて保存を行う必要があります。



2. ファイルの保存画面の変更 (p.10)

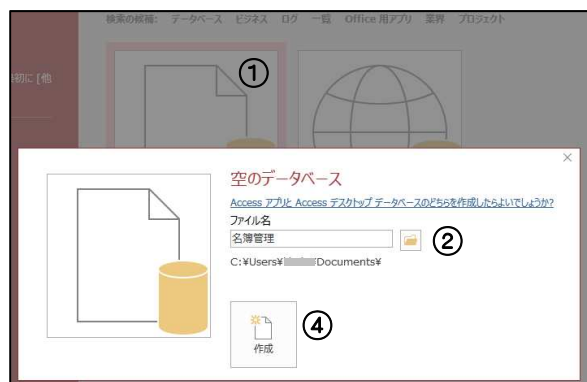
2. 開始作業 (ファイルの保存)

① [空のデータベース] をクリック。

②  をクリック。

③ [新しいデータベース] ダイアログボックスが表示されるので、保存先を指定、「名簿管理」の名前を入力して、[OK] をクリック。

④ [作成] をクリック。



3. ピボットテーブル・ピボットグラフ機能の削除 (p. 89~91)

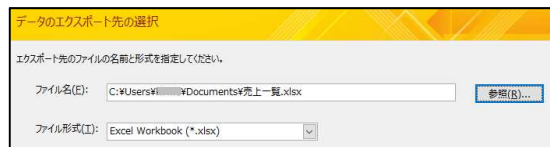
9.3 ピボットテーブルとピボットグラフの作成

ここでは、5.1 項で作成した売上一覧クエリから、ピボットテーブルとピボットグラフを作成します。Excel にエクスポートし、Excel で操作を行ってください。

- ① [Q_売上一覧] を開く。[外部データ] タブの [Excel スプレッドシートにエクスポート] をクリック。



- ② データのエクスポート先の選択で [参照] ボタンをクリックしてファイル名を確認、[OK] をクリック。閉じる。



- ③ 保存した Excel ブックを使って、ピボットテーブルとピボットグラフを作成する。

※バージョン 2013・2016 では、ピボットテーブル・ピボットグラフの機能は削除されました。そのため、p.90~91 は削除してください。

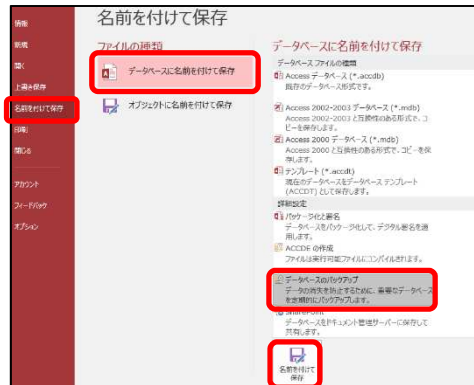
4. バックアップのバックステージビュー変更 (p.92)

1. データベースのバックアップ

不測の事態に対応するため、定期的にバックアップを行いましょう。保存先は、できるだけストレージ（外部記憶装置）にすることをお勧めします。

- ① あらかじめ、そのデータベースを開いておきます。

「ファイル」タブの「名前を付けて保存」から「データベースに名前を付けて保存」 - 「データベースのバックアップ」を選択して、「名前を付けて保存」ボタンをクリックする。



- ② 「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されるので、保存する。

5. データベース最適化のバックステージビュー変更 (p.92)

2. データベースの最適化

Access では、作業を繰り返しているうちに、不要な領域が増えたりしてファイルサイズが肥大するので、時折最適化を行うとよいでしょう。あらかじめファイルサイズを確認しておいてから実行するとよくわかります。

- ① ファイルを開き、「ファイル」タブの「情報」 - 「データベースの最適化/修復」ボタンをクリック。

データが少ないと、実行してもすぐ終了する。終了しても何も変化がないが、いったん閉じて確認する。



- ② 実行前



- 実行後

